

第 1 章 調査の概要

1 調査目的

本調査は、足立区内で子育てをされている当事者の方々が具体的にどのような支援を求めているか、また、子育てを経験した方々にはその過程でどのような支援があれば有益だったかを0～22歳のお子様が1人以上いる世帯にアンケート調査を実施することで、区として優先的に取り組むべき支援策を見極めるとともに、より多様で幅広い子育て施策の展開につなげていくことを目的としている。

2 調査時期

令和6年12月11日（水）～31日（火）

3 調査対象者

足立区にお住まいの0～22歳のお子様が1人以上いる世帯 6,000世帯

0～15歳のお子様が1人以上いる世帯 4,000世帯

16～22歳のお子様が1人以上いる世帯 2,000世帯

※ 対象世帯の抽出は、足立区の住民基本台帳から無作為抽出を行った。

4 調査方法

郵送配布、郵送回答またはWEB回答で実施

5 回収状況

発送数 6,000件

	【回収数】	【回収率】
		() 内は調査手法の回収率
郵送回収	977件	16.3% (50.9%)
WEB回収	943件	15.7% (49.1%)
合計	1,920件	32.0% (100.0%)
	【有効回収数】	【有効回収率】
		() 内は調査手法の回収率
郵送回収	976件	16.3% (50.9%)
WEB回収	942件	15.7% (49.1%)
合計	1,918件	32.0% (100.0%)

《参考》 一番下の子（子が1人の場合はその子）の年代別の回収状況

	【有効回収数】	【有効回収率】
一番下の子(子が1人の場合 はその子)が0～15歳の世帯	1,384件	34.6%
一番下の子(子が1人の場合 はその子)が16～22歳の世帯	532件	26.6%

※ 上記は、有効回収数 1,918 件のうち、子の年代が不明な回答 2 件を除く。

6 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が 100.0 にならない場合がある。
- (2) 回答の割合(%)は、その質問の回答者数（n：number of case の略）を基数として算出している。したがって、複数回答の質問は全ての割合を合計すると 100.0% を超えることがある。
- (3) 2つ以上の選択肢を合わせた項目の割合を表記する場合、その割合は、それぞれの選択肢の実数値を合計してから、割合を再計算したものを使用している。そのため、図表中に掲載されている数値の単純な合計とは異なる場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している。
- (5) 図表中の“－”は、回答者がいないことを表している。
- (6) クロス集計の図表では、分析の軸（＝表側）とした調査回答者の属性（性別／年齢別など）でnが少ないもの（30人未満）は、標本誤差が大きくなるため、参考として図示しているが、分析の対象からは除いている。
- (7) 分析の軸（＝表側）が対になっている項目の比較では、割合の差を中心に記述している。その表現は%ではなく、ポイントであらわし、小数点以下第2位を四捨五入している。また、言及するのは目安として5.0ポイント差以上とした。
- (8) 統計数値を考察するにあたっては、複数のことをまとめて表現する場合（例 男女とも、40歳以上など）に、割表記を用いることがある。その際の目安は、おおむね以下のとおりとしているが、状況に応じて、△割台、△割以上、△割前後などとまとめている場合もある。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割